

# 会員拡大・研修委員会 基本方針

会員拡大・研修委員会 委員長 井手 崇人

一般社団法人佐賀青年会議所は主管する第74回全国大会佐賀大会まで3年をきる中で、開催時まで在籍するメンバーは現役メンバーの約4割となり会員数の減少という課題を抱えています。また、昨今の新型コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり、昨年は多くの事業が開催こそされましたが、経験の少ないメンバーが多く、資質の向上を図ることが必要です。

まずは、2年後に迫っている全国大会とその先の佐賀青年会議所運動を見据えるために、会員拡大の目的や手法を学べる機会を設けることで、会員拡大に対する質の向上と意識を高め皆で会員拡大に取り組む風土の醸成を行います。そして、多岐にわたる業種からの会員拡大を図るために、メンバーからの候補者情報共有を密に行うとともに、総務・広報委員会との連携を図り理事長とともに各企業や官公庁を訪問し会員拡大につなげることで、佐賀青年会議所が抱える会員数の減少という課題を解決します。さらに、新入会員が主体的に動ける人財となるために、より具体的に青年会議所運動を学べる新入会員研修をつくることで、主体的に青年会議所運動へ参加する人財を増やします。また、持続可能な会員拡大をするために、青年会議所の理念をしっかりと学ぶ場を設けることで、理念に共感する仲間を増やします。そして、佐賀青年会議所がより強固な組織となるために、現役メンバーと新入会員の交流の機会を設けメンバーの絆を深めることで、組織力の向上を図ります。さらに、全国大会主管という初めての経験を成功へと導くために、青年会議所の魅力をしっかりと伝えていける若い地域のリーダーを育てることで、全国大会への機運を高め多くのメンバーが主体的に動けるようにします。

地域により良い変革をもたらす人財を増やし、住み暮らす地域に最も必要とされる団体となり、「獅子搏兎」のように決してあきらめることなく妥協せずに、何事にも全力な気持ちを胸に、明るい未来を目指します。

## [事業計画]

1. 新入会員研修の企画、運営(通年)
2. シニア総会への支援(1月)
3. 裸ん行参加者への支援(2月)
4. 例会の企画、運営(2月、6月)
5. 九州コンファレンス(熊本)参加者への支援(8月)
6. 世界会議(スイス)参加者への支援(11月)
7. 全国大会に向けての取り組み(記念事業検討)
8. 会員拡大 拡大目標6名 (全体30名)